

令和4年中の事業用トラックの飲酒事故事例

出典：メールマガジン「事業用自動車安全通信」（国土交通省）等

| | 事故等の種類 | 車籍地 | 発生日時 | 死傷状況 | | 当時の状況 |
|----|--------|-----|-----------------|------|----|--|
| | | | | 死亡 | 負傷 | |
| 1 | 酒気帯び衝突 | 佐賀県 | 1月26日 5時52分 | | | 神奈川県的高速道路と国道の合流地点において、佐賀県に営業所を置く 大型トラック が進路変更しようとした際、 右側車線を直進していた乗用車と衝突した 。この事故による負傷者はなし。事故後の警察の調べにより、当該大型トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで逮捕された。 |
| 2 | 酒気帯び衝突 | 石川県 | 3月25日 20時30分 | | | 栃木県の国道において、石川県に営業所を置く 大型トラック が運行中、国道に合流する際、 走行していた側道の左側ガードレールに接触し、弾みで中央分離帯に衝突、更に道路左側のガードレール及び街灯に衝突し停車した 。この事故による負傷者はなし。事故後の警察の調べにより、当該大型トラックの運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで逮捕された。 |
| 3 | 酒気帯び衝突 | 福岡県 | 3月28日 0時30分 | | | 山口県的高速道路において、福岡県に営業所を置く 大型トラック が走行車線を運行中、ハンドル操作を誤り、 追越車線を走行していたトラックの側面に衝突した 。この事故による負傷者はなし。事故後の警察の調べにより、当該大型トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで逮捕された。 |
| 4 | 酒気帯び衝突 | 岡山県 | 4月15日 16時20分 | | 1 | 岡山県の国道において、同県に営業所を置く 大型ダンプ が対向車線にはみ出し、 対向車線を走行してきた大型トラックと衝突し、そのまま現場から立ち去った 。この事故により、大型トラックの運転者が軽傷を負った。事故後の警察の調べにより、当該大型ダンプ運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反（酒気帯び運転等）の疑いで逮捕された。 |
| 5 | 酒気帯び衝突 | 新潟県 | 4月17日 14時00分 | | | 新潟県の飲食店駐車場において、同県に営業所を置く 大型トラック が後退する際、 駐車していた乗用車及び店舗の看板に衝突した 。この事故による負傷者はなし。事故後の警察の調べにより、当該大型トラック運転者の呼気からアルコールが検出された。 |
| 6 | 酒気帯び衝突 | 栃木県 | 4月26日 1時54分 | | | 千葉県の国道（トンネル内）において、栃木県に営業所を置く 大型トラック が片側2車線の第二通行帯を運行中、 第一通行帯を走行していた大型トラック・トレーラに接触した 。この事故による負傷者はなし。事故後の警察の調べにより、当該大型トラック運転者の呼気からアルコールが検出された。 |
| 7 | 酒気帯び衝突 | 千葉県 | 5月14日 5時49分 | | 1 | 千葉県の国道において、同県に営業所を置く 大型トラック が運行中、赤信号を無視して交差点内に進入し、 対向車線から右折してきた乗用車と衝突した 。この事故により、乗用車の運転者が軽傷を負った。事故後、当該大型トラック運転者は現場から立ち去り、約1時間後に警察に出頭した。その後の警察の調べにより、当該大型トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反（酒気帯び運転等）の疑いで逮捕された。 |
| 8 | 酒気帯び衝突 | 兵庫県 | 5月16日 23時27分 | | | 広島県の市道において、兵庫県に営業所を置く 大型トラック が運行中、 ガードレールに衝突した 。この事故による負傷者はなし。事故後の警察の調べにより、当該大型トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反（酒酔い運転）の疑いで逮捕された。 |
| 9 | 酒気帯び衝突 | 富山県 | 6月6日 13時00分 | | | 富山県の県道において、同県に営業所を置く 中型トラック が運行中、中央分離帯を乗り越えて 反対車線の街路樹に衝突した 。この事故による負傷者はなし。事故後の警察の調べにより、当該中型トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで逮捕された。 |
| 10 | 酒気帯び横転 | 高知県 | 7月14日 15時30分 | | | 高知県の国道において、同県に営業所を置く 大型ダンプ が運行中、対向車線にはみ出し、 歩道に乗り上げ横転した 。この事故による負傷者はなし。事故後の警察の調べにより、当該大型ダンプ運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反の疑いで逮捕された。 |

| | 事故等の種類 | 車籍地 | 発生日時 | 死傷状況 | | 当時の状況 |
|----|--------|-----|------------------|------|----|---|
| | | | | 死亡 | 負傷 | |
| 11 | 酒気帯び衝突 | 埼玉県 | 8月28日 23時30分 | | | 新潟県の店舗駐車場において、埼玉県に営業所を置く大型トラック①が車両を駐車しようとして後退したところ、当該車両の右後部が、停車中の大型トラック②の左側面前部に接触した。 この事故による負傷者はなし。 事故後の警察の調べにより、当該大型トラック①運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで逮捕された。 |
| 12 | 酒気帯び衝突 | 長野県 | 10月18日 12時30分 | | | 茨城県の高速道路において、長野県に営業所を置く大型トラックが運行中、パーキングエリアにて車両を駐車するため後退していたところ、駐車していた車両に接触した。 この事故による負傷者はなし。 事故後の警察の調べにより、当該大型トラック運転者の呼気からアルコールが検出された。 |
| 13 | 酒気帯び衝突 | 長野県 | 11月1日 0時50分 | | | 埼玉県の国道において、長野県に営業所を置く大型トラックが運行中、道路脇に置いてあった物品に接触した。 この事故による負傷者はなし。 事故後の警察の調べにより、当該大型トラック運転者の呼気からアルコールが検出された。 |
| 14 | 酒気帯び衝突 | 山口県 | 11月30日 12時55分 | | 1 | 岡山県の県道において、山口県に営業所を置く大型トラックが運行中、対向車線を走行してきた軽自動車と接触した。 この事故により、軽自動車の運転者が軽傷を負った。 事故後の警察の調べにより、当該大型トラック運転者の呼気からアルコールが検出された。 |
| 15 | 酒気帯び人身 | 熊本県 | 12月1日 16時00分 | | 1 | 熊本県の県道において、同県に営業所を置く中型トラックが運行中、信号機のある交差点を右折する際、横断歩道を青信号で渡っていた歩行者をはねた。 この事故により、当該歩行者が重傷を負った。 事故後の警察の調べにより、当該中型トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで逮捕された。 |